

○ 優良協働事例の紹介（平成 25 年度）

「長野県カーボンオフセットシステム構築事業」

平成 25 年度信州協働大賞【優秀賞】

1 主な協働の主体

主団体：特定非営利活動法人森のライフスタイル研究所（伊那市）

薪・ペレットストーブユーザー、クレジット購入企業、薪販売事業者

J-VER 運営事務局（気候対策変動認証センター）

上伊那森林組合（ペレット工場）

長野県（林務部県産材利用推進室）

2 事業実施に至った経過

ペレットや薪の木質バイオマスを利用してCO₂の削減を実現し、木質バイオマス利用者を支援する仕組みをつくることにより、地球温暖化防止を実現させ、同時に、ペレット生産等の森林資源の有効活用を通じ、健全な森林づくりを推進するため長野県が全国に先駆けカーボンオフセットシステムを構築しました。

3 事業内容

H20～H22 カーボンオフセット構築のための検討委員会開催（県主体。主団体の代表理事所長の竹垣英信氏は委員として参画）

H21 ペレットストーブシステム運用開始



（企業向けシンポジウムの開催 H21. 10. 21）

H22 薪ストーブシステム運用開始



(制度普及のための木質バイオマス展 i n 松本駅前広場 H22. 2. 13)

H23～H25 制度の普及啓発のため、シンポジウム（3回）を開催

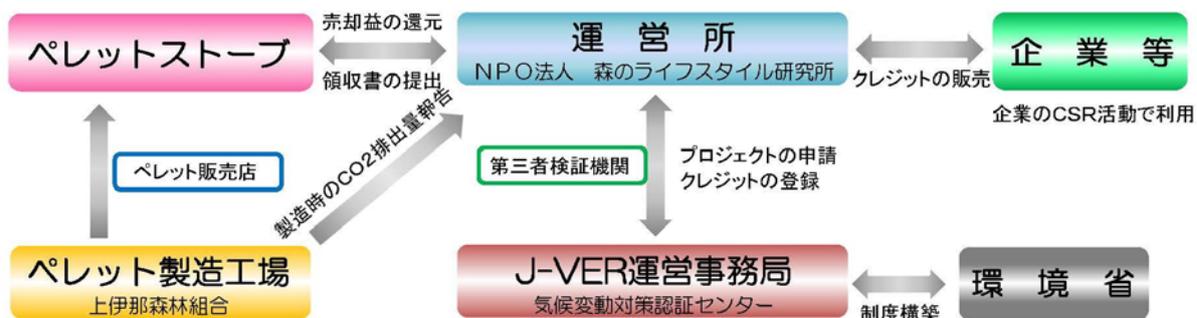
H25. 5 京都市で先進事例としての報告会（80名）



年度毎の実績

項目	H20	H21	H22	H23	H24	5か年実績
ペレットストーブシステム	制度構築	制度施行	-----	-----	-----	▶ 制度構築・施行
薪ストーブシステム	—	制度構築	制度施行	-----	-----	▶ 制度構築・施行
シンポジウム等開催(回)	—	2	5	2	2	11
執行額(千円)	1,409	738	773	—	—	2,920

カーボンオフセットシステム【ペレットストーブの例】



4 各主体の役割分担

県：制度構築

森のライフスタイル研究所：運営所

薪・ペレットストーブユーザー：参加者（クレジット創出者） 810人（H25.12現在）

企業等：参加者（クレジット購入者） 24件（H25.12現在）

5 事業の成果

ペレットストーブ及び薪ストーブシステムで今までに 1,176CO₂-t のクレジットの登録を行い、企業にクレジットを販売することにより参加者であるペレットストーブユーザー及び薪ストーブユーザーに 1CO₂t 当たり 2,000 円の還元を行いました。

シンポジウム等を開催し木質バイオマスの普及を図りました。

構築したシステムを参考に他県（福島県、新潟県）でも同様なシステムの運用が開始されています。

また、京都市においても、市民参加の仕組みとしての評価を受け事業内容の報告を行いました。

6 今後の予定

カーボンオフセットに関する国の動き等を注視し、制度を運営して行きます。

また、長野県から始まった当制度を、木質バイオマスの普及を図る目的で全国へ発信して行きます。